

思春期の子どもと保護者に寄り添う 教師のためのソーシャルスキル研修講座

思春期の特徴を理解し、子どもや保護者との信頼関係を築きながら、
さまざまな問題に対応するためのソーシャルスキルの向上を図ります。

思春期の子どもは、心に抱えたことを言葉ではなく「問題行動」として表すことが多いため、
周囲の大人は、まず問題行動の背景に目を向ける必要があります。この講座では、思春期の
子どもの特徴を理解し、さまざまな問題に適切に対応するために、教師が子どもや保護者と
信頼関係を構築するためのソーシャルスキルを身に付け、対応力向上を目指します。

【期 日】2019年11月14日（木）

【対 象】小・中・高・特

【募集人数】100人



研修内容

講義・演習「思春期の子どもの心と向き合う」

講師 国立大学法人茨城大学大学院教授 三輪 壽二 先生<予定>

思春期とは、どのような時期なのか、発達段階における「思春期の意味」を踏
まえ、思春期に起こりやすい問題行動等の背景について御講義いただきます。ま
た、問題行動等を予防するという観点から思春期に表れる特徴や対応について、
理解を深めます。

講義・演習「子どもと保護者に寄り添うソーシャルスキル」

教師が子どもや保護者と信頼関係を構築し、子どものさまざまな問題に適切
に対応するためにどのように関わったらよいのか、教師が身に付けておきたい
基本的なソーシャルスキルについて学びます。

【問い合わせ先】 教育相談課直通 0296-78-3219